

- **管 内** 日高管内
- **分 類** 生活安全 交通安全 災害安全
- **教育課程** 教科（科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動 その他
- **校 種** 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- **取組のポイント**

- 生徒が様々な場面に応じて安全な行動をとるための実践的な避難訓練
- ワークシート等の工夫による避難訓練の事後指導の充実

取組の実際

ねらい

- 災害発生時に生徒が自らの命を守るため、実践的な避難訓練を通じて、生徒が自分の安全を確保する適切な避難行動ができるようにする。

内 容

1 危機回避能力を高める避難訓練の実施

<避難訓練の概要>

- **地震発生**（※生徒への事前予告なし）
 - ・教頭が教職員へ避難場所、避難経路及び教職員の役割等を指示（※教職員への事前指示なし）
 - ・担当教諭が生徒へ避難場所、避難経路を放送指示
 - ・教職員の誘導のもと、生徒が避難場所へ移動



全
員
避
難
後

- **津波警報発令**（※生徒への事前予告なし）
 - ・教頭が再度、教職員へ校舎敷地外の避難場所（約500m離れた高台）、避難経路及び教職員の役割を指示
 - ・担当教諭が生徒へ避難場所、避難経路を指示
 - ・教職員の誘導のもと、生徒が避難場所へ移動

2 避難訓練の事後指導

- **避難終了後、学校へ戻り避難訓練の成果と課題を検証**

<校外への避難経路の確認>

- ・生徒へ避難経路を示したワークシート（右図参照）を配布し、避難時の留意点を担当教員が全校生徒に説明する。

<消防署員による災害時の心構え等の説明>

- ・地域の消防署員が全校生徒に次の3点を説明し、災害時の留意点を理解させる。

- ①揺れを感じたら自分の身を守る。
- ②火の元の始末・確認をする。
- ③家族の安否や避難経路を確認する。

<教職員への事後アンケートの実施>

- ・事後アンケートをもとに避難訓練の成果と課題を明確にし、実施内容の改善を図る。

避難経路の目印が写真で示されており、生徒が理解しやすいよう工夫している。



避難経路を示したワークシート

成果と課題

- 管理職の的確な指示のもと、生徒及び教職員が迅速かつ安全に避難するなど、災害発生時に対応する危険予測・回避能力を身に付けることができた。
- 地域や関係機関等と連携した避難訓練の実施などを通じて、地域防災や支援活動に取り組むなど、社会貢献に対する意識の醸成を図る必要がある。